



ふくしまの道づくりの 評価と計画

平成18年度達成度報告書

平成19年度業績評価計画書

福島県幹線道路協議会

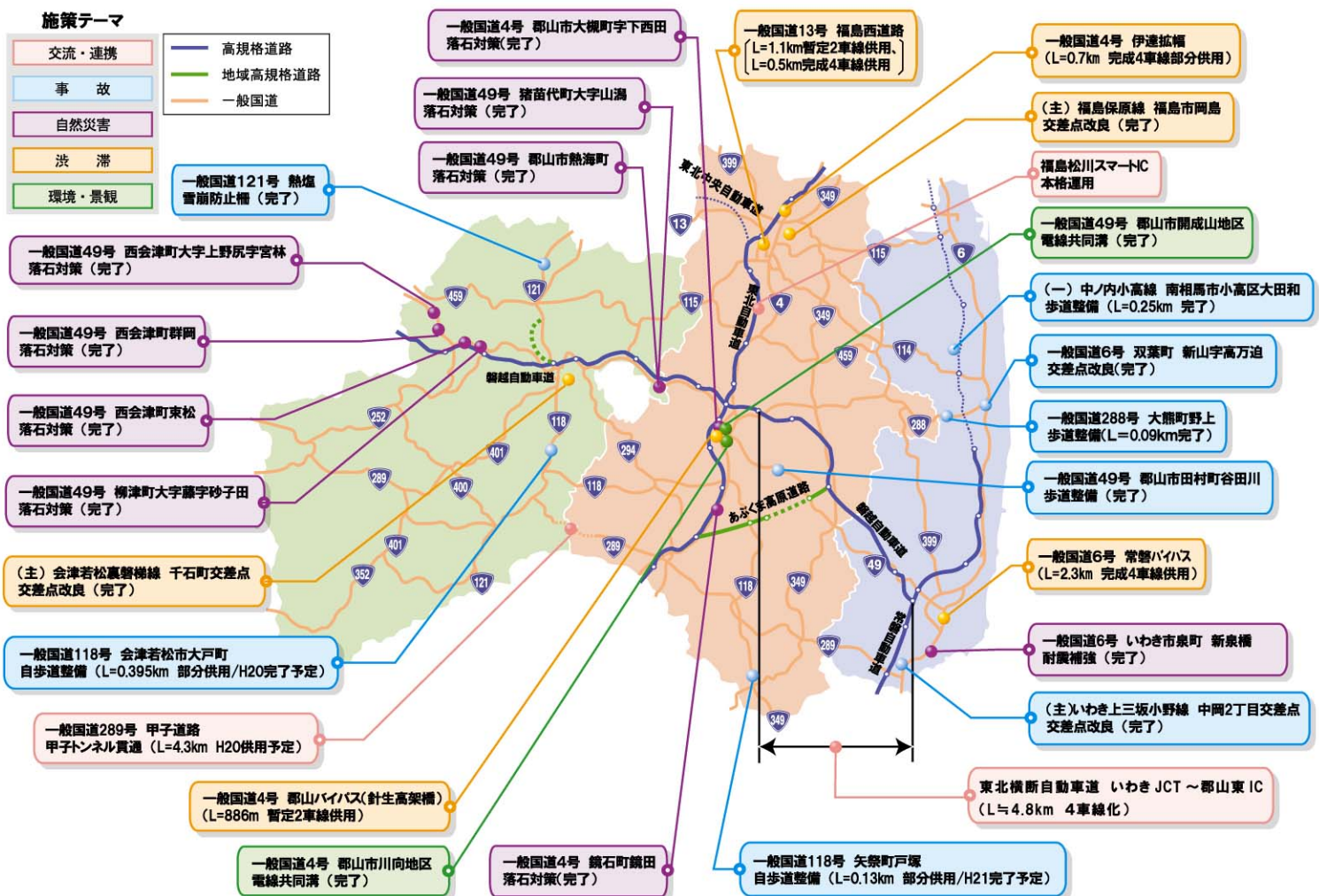
ふくしまの道づくりの評価と計画 平成18年度の主な取り組み



私たちは、5つのテーマを決めてみちづくりを行っています。



平成18年度に実施・完成した代表的な取り組み



広域的な連携・交流を促すふくしまの道づくり

地域連携・地域生活を支えるふくしまの道づくり

施策テーマ1
交流・連携

業績評価指標	H17末	H18末		H19末目標
		目標	達成値	
7つの生活圏中心都市間の所要時間	85分			各種施策を実施していますが、平成19年度末までに事業が完了しないため、目標を設定しません
高速道路を利用する自動車の割合	12.4%			
高次医療施設60分到達可能人口割合	88.3%			

広域的な交流・連携のための高速ネットワークの整備を推進しています。

平成18年度の評価

○6本の連携軸を支える各事業を進めています○

会津 国道289号 甲子道路
一郷町～西郷村

- 平成18年8月4日 甲子トンネルが貫通しました
- 平成20年甲子道路供用を目指して工事を推進中
- 白河市～下郷町間が約30分短縮します



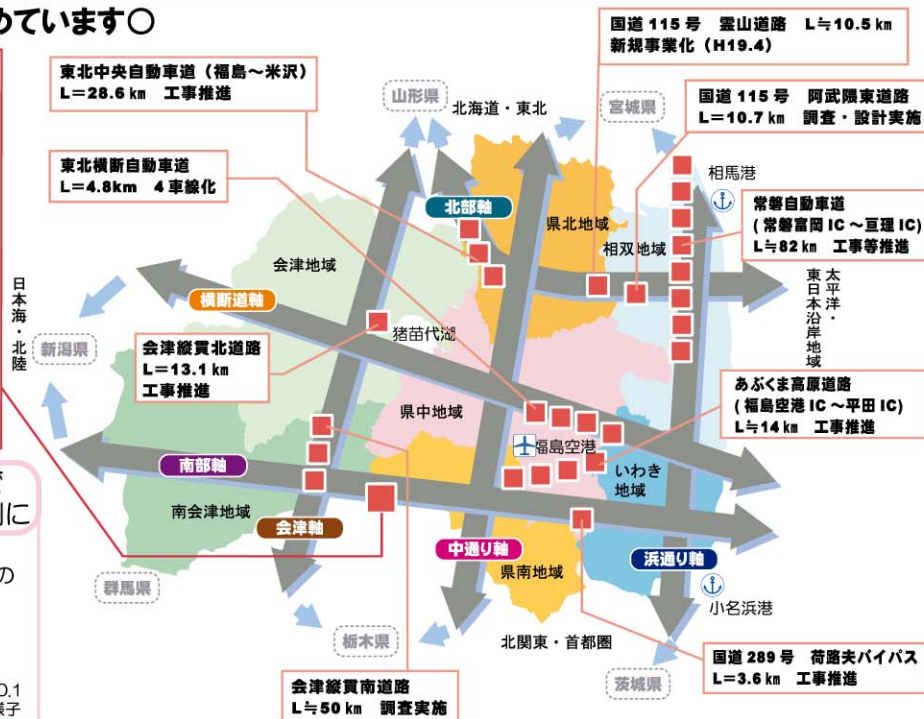
平成18年8月4日(金)に「貫通記念式典」および「貫通式」を開催

トピックス **中通り** スマートIC本格運用で
高速道路をもっと便利に

一福島市一
平成18年10月1日より、福島松川スマートICの本格運用がスタートしました



H18.10.1
式典の様子



check!

・スマートIC等の導入で高速道路の利用が便利になりましたが、依然として高速道路ネットワークの整備や利便性の向上が必要です。

平成19年度の計画

交流・連携に必要な道路の整備を促進

浜通り ■常磐自動車道
(常磐富岡IC～新地IC(仮))

会津 ■国道289号甲子道路

中通り ■東北中央自動車道
(福島～米沢)
等の事業を促進します

スマートICの取り組みを継続

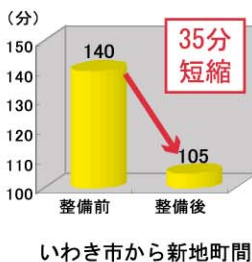
中通り ■福島松川スマートIC24時間運用

■鏡石スマートIC社会実験開始

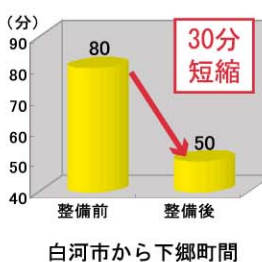
会津 ■新鶴スマートIC恒久化
(本格運用)

整備により期待される効果 ～移動時間の変化～

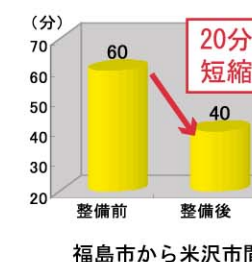
◆常磐自動車道
常磐富岡IC～新地IC



◆国道289号甲子道路



◆東北中央自動車道
福島～米沢



整備により、移動時間の短縮が期待されます。

施策テーマ2 交通事故

安全で安心な暮らしを支えるふくしまの道づくり

思いやりを持ったふくしまの道づくり

業績評価指標	H17末	H18末		H19末目標 ※注2
		目標	達成値 ※注1	
事故危険箇所数 ※注2	33箇所	9箇所対策	11箇所対策	10箇所対策
通学路における歩道の整備延長	1007.9km	22.2km延伸	14.9km延伸	12.3km延伸

「通学路における歩道の整備延長」は、計画策定時の計画延長に相当する財源の確保ができなかったため、目標を達成することができませんでした。

注1: ■ 目標達成
注2: H19年度末目標は、H18年度末値からの増加もしくは減少量を表しています

交通事故を防ぐため、交差点改良や通学路への歩道整備を実施しています。

○交差点改良でドライバーの安全性が向上しました○

浜通り (主)いわき上三坂小野線 中岡二丁目交差点 -いわき市- 他

- ・右折時の事故が多発し、事故危険箇所となっていた交差点について、右折レーンを設置しました。

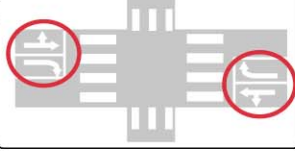
【整備前】



【整備後】



右折レーンを設置したことで、安全性が向上しました。



○通学中の事故を防ぐため歩道を整備しました○

中通り 国道49号 谷田川自歩道整備 -郡山市- 他

- ・登下校の中学生などの歩行者の安全を守るために、幅2.5mの歩道を1.8km整備しました。

【整備前】



車の往来が激しい車道脇の狭い路肩を子供たちが通っていました。

【整備後】

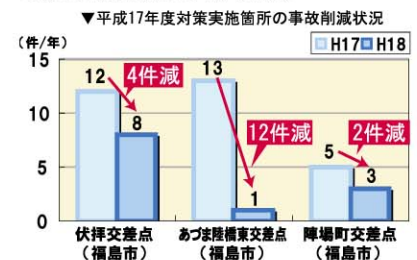


車道と歩道が完全に分離され、安全に通れるようになりました。

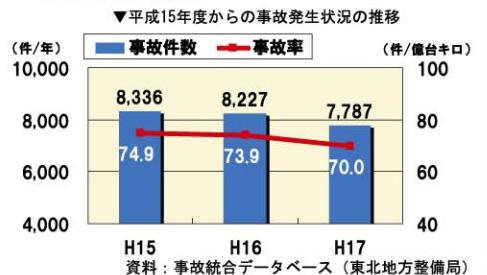
平成18年度の評価

トピックス 事故対策による効果

- ・平成17年度の対策実施箇所では、3箇所でも人身事故が減少しています。



- ・福島県全域でも平成15年度から毎年事故が減少しています。



check!

- ・11箇所の事故危険箇所について対策し目標を達成しましたが、事故危険箇所が残っています。
- ・依然として通学路で歩道未設置の区間は多く、生徒・児童が危険にさらされています。

平成19年度の計画

交通事故削減

■交差点改良等による事故危険箇所対策

事故危険箇所対策

代表例：

中通り 国道4号 弁天山交差点 -福島市-

左折車両への追突事故が多発する交差点に、左折レーンを設置します。



生徒・児童の安全確保

■通学路歩道未設置区間への歩道整備

通学路の歩道整備

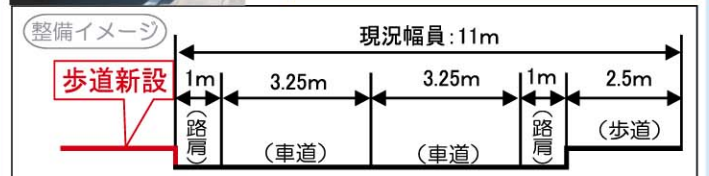
代表例：

浜通り 国道6号 小泉自歩道 -相馬市-



歩道がなく、歩行者の危険が大きい箇所へ歩道を設置します。

通学路への歩道が未整備となっている箇所では生徒等が危険にさらされています。



雪や寒さを克服するふくしまの道づくり

維持管理の充実を図るふくしまの道づくり

施策テーマ3
自然災害

業績評価指標	H17末	H18末		H19末目標 ※注2
		目標	達成値 ※注1	
雪崩や地吹雪の恐れのある危険箇所数	233箇所	5箇所解消	6箇所解消	5箇所解消
落石の恐れのある危険箇所数	1979箇所	47箇所解消	67箇所解消	43箇所解消
緊急輸送道路の道路構造物耐震化率	22%	37%向上	47%向上	31%向上
道路情報へのアクセス数(直轄国道)	346万件/年	7万件/年増加	25万件/年減少	55万件/年増加

「道路情報へのアクセス数」は、少雪の影響によって冬期のホームページアクセス数が減少したため、目標を達成できなかったものと思われます。

注1: 目標達成
注2: H19年度末目標は、H18年度末値からの増加もしくは減少量を表しています

自然災害から利用者を守るため、危険箇所の対策実施や情報提供の充実に取り組んでいます。

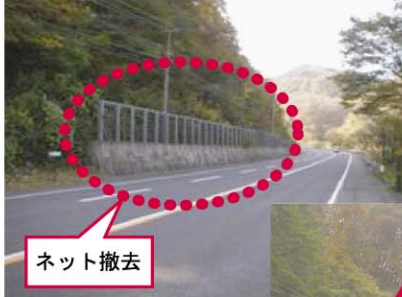
平成18年度の評価

○対策により落石崩壊の危険を解消しました○

【中通】 国道49号 郡山市熱海町 他

・既設の落石防止ネットを撤去して法枠工を施工し、落石崩壊の危険を解消しました。

【整備前】



落石防止ネットでは、斜面(法面)の崩壊を防止できませんでした。

ネット撤去

【整備後】



法枠工を施工

コンクリート製の枠などで斜面を抑え、落石崩壊を防止します。

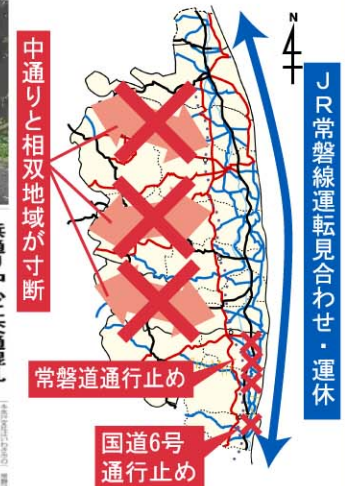
トピックス 【浜通】 豪雨による災害が多発しました。

落石による危険箇所は全県的に多数存在しています。

平成18年10月6日～8日にかけて、相双地方を襲った記録的な豪雨では、常磐道や国道6号の他、中通り方面とを結ぶ幹線道路が通行止めとなり、交通はマヒし、一時は陸の孤島となる地域もありました。



▲落石による国道115号の通行止めの様子



中通りと相双地域が寸断

常磐道通行止め

国道6号通行止め

JR常磐線運転見合わせ・運休

check! ・雪崩や地吹雪、落石の危険箇所について、目標を上回る箇所の対策を実施しましたが、依然として、危険箇所が多数存在します。
・橋梁耐震化についても目標を上回る箇所の対策を実施しましたが、今後も計画的な対策実施が必要です。

平成19年度の計画

危険箇所対策

- 落石危険箇所対策
- 雪崩・地吹雪危険箇所対策

橋梁耐震化

- 緊急輸送道路の橋梁耐震化

道路情報の充実

- ホームページ、携帯サイトの充実

緊急輸送道路の橋梁耐震化

代表例: 【中通】 国道4号 油井高架橋 ー二本松市ー

引き続き、緊急輸送道路の橋梁耐震化を実施します。
⇒大規模地震時の被災を防止します。

対策イメージ



橋桁を橋脚に固定



既設橋脚に落橋防止装置なし

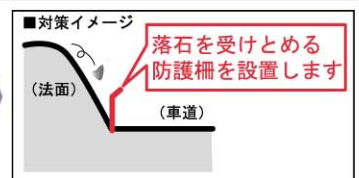
落石危険箇所対策

代表例: 【会津】 国道401号 松坂工区 ー会津美里町ー

引き続き落石危険箇所への対策を継続します。
⇒緊急性の高いところから優先的に実施します。



至南会津



対策イメージ

落石を受けとめる防護柵を設置します

都市の活動を支えるふくしまの道づくり

施策テーマ4
渋滞

業績評価指標	H17末	H18末		H19末目標 ※注2
		目標	達成値 ※注1	
渋滞による損失時間	5334万人時間/年	11万人時間/年削減	42万人時間/年削減	108万人時間/年削減
交通渋滞が著しい箇所数	62箇所	5箇所解消	4箇所解消	9箇所解消
路上工事時間（直轄国道）	120時間/年・km	6時間/年・km削減	15時間/年・km削減	5時間/年・km削減

「交通渋滞が著しい箇所数」は、用地の取得が整わず事業が未完の箇所があったため、目標を達成することができませんでした。

注1：目標達成
注2：H19年度末目標は、H18年度末値からの増加もしくは減少量を表しています

渋滞解消を目指して、交差点改良やバイパス整備の他、路上工事対策も実施しています。

平成18年度の評価

○バイパス整備で渋滞が解消・緩和しました○

中通り 国道4号 針生高架橋 ー郡山市ー

- ・あさか野バイパス針生高架橋(L=886m)の立体化を完了し、暫定2車線(下り)で供用しました。
- ・これにより、従来の国道4号下り方向の渋滞が緩和しました。



▲国道4号 針生地区※通過時間の変化

浜通り 国道6号 常磐バイパス ーいわき市ー

- ・4車線化により、渋滞が解消しました。



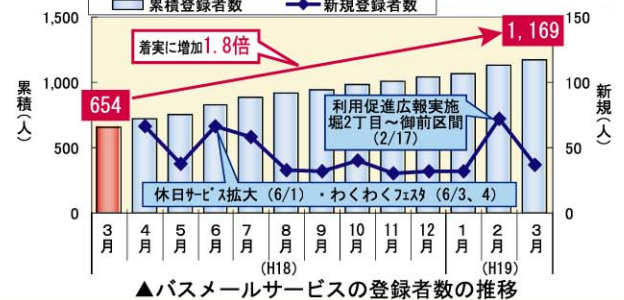
▲4車線化区間の通過時間の変化

トピックス 公共交通利用促進による渋滞緩和

- ・郡山市内のバス路線で、バスの接近を知らせるサービスを実施しています。
- ・平成19年度はサービス路線を拡大し、渋滞ポイント(警察署前交差点)において、約3%の渋滞長削減を目指します。



▲バスの運行状況をメールでお知らせ
▲バスの運行ルート



check! バイパスや道路拡幅、交差点改良を実施したものの、依然渋滞の著しい箇所が多数残っています。

平成19年度の計画

渋滞対策

■交差点改良や道路拡幅、バイパス整備の継続で渋滞ポイントを解消

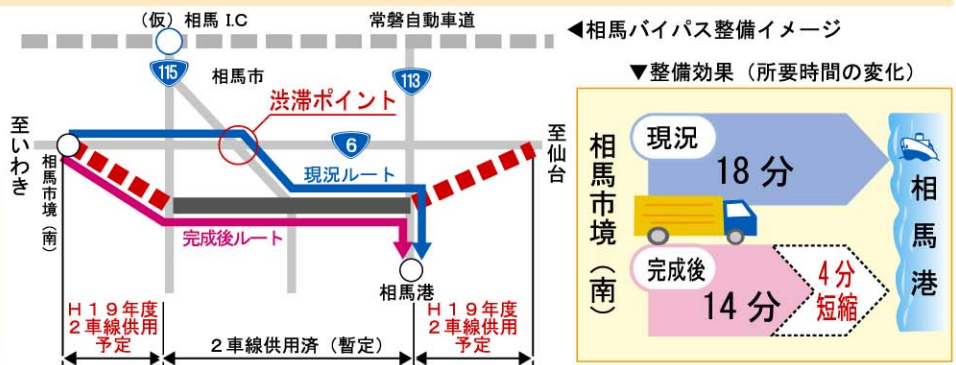
継続的な渋滞対策 代表例：**浜通り** 国道6号 相馬バイパス ー相馬市ー

相馬バイパスの全線完成により、渋滞ポイントの存在する市街地部を回避でき、通過時間の短縮が図られます。

道路整備のほかに...

中通り 公共交通の適正利用の促進 ー福島市ー

福島都市圏の渋滞対策として、自動車の適正利用や公共交通への転換をお願いする取り組みを実施します。



自然環境や景観と調和したふくしまの道づくり

施策テーマ5
環境・景観

業績評価指標	H17末	H18末		H19末目標 ※注2
		目標	達成値 ※注1	
電線類を地中化した延長	44.9km	4.0km 延伸	4.2km 延伸	2.5km 延伸

注1：目標達成
注2：H19年度末目標は、H18年度末値からの増加もしくは減少量を表しています

都市内の景観改善を図るため、電線類の地中化を実施しています。

平成18年度の評価

○電線類の地中化によって街並み景観が改善します○

【中通り】(都)吹上荒町線、(都)本宮停車場中條線 街路 一本宮市 他

- ・電線が景観を阻害していた区間 (L=200m) について、街並み景観の改善を図るため、街路整備にあわせて電線共同溝を整備しました。



電線類をこの中へ引き込みます。

トピックス まちづくりを支援する景観形成

【中通り】国道4号 伊達拡幅 一桑折町 一

まちづくり懇談会で沿道景観の整備方針を検討



▲電線類を地中化し、ハナミズキの並木を整備

check!

- ・電線類地中化延長を4.2km延伸し、目標を達成しました。
- ・今後も引き続き、関係者間の連携を図り、計画的に進めます。

平成19年度の計画

都市内の景観改善

■電線共同溝整備

環境への配慮

■CO2削減アクションプログラム※の推進

※CO2削減アクションプログラム

- ・地球温暖化問題に対する環境負荷軽減する取り組み
- ・モビリティの主要部分である自動車交通が排出するCO2の削減を図るための施策です ⇒42箇所の渋滞ポイントを平成24年度までに対策し、CO2削減を目指しています。

電線類地中化事業

代表例：【中通り】国道4号 一郡山市図景地区一

電柱を無くし、歩行空間を確保します。



▲国道4号 郡山市図景地区 整備前の様子

トピックス 街なみづくりを支援する景観整備

【中通り】三春町大町地区 「美しい街なみ優秀賞」受賞

景観に配慮した街なみづくりを地域一体となって整備している地区であり、(都)荒町新町線においても、景観に配慮した整備を行いました。

景観整備の取組みが評価され、「平成19年度美しいまちなみ優秀賞」を東北で唯一受賞しました。



▲電線類地中化などで景観整備された(都)荒町新町線



▲自然や歴史的環境を活かして整備された磐路通り

平成18年度 その他の取り組み

● 公共事業への理解を深める取り組みをすすめています

知ってなっとく
公共事業
50万人プロジェクト

小学生による見学の様子



工事進捗を情報提供



● 地域のみなさんと共に道づくりを考えました

福島西道路南伸について、住民の方々と意見交換しながら、概略計画を確定

▼委員会で比較案を総合的に判断



▼地元懇談会の様子



● 地域の魅力を発信しました

会津「道の駅」協議会設立

・会津地方6駅が連携し、ゆきみらい2007in会津へ共同参加しました。



▲ゆきみらい2007in会津「道の駅」共同ブースの様子

● 地域のみなさんと協働で道路を守っています

うつくしまの道・サポート制度

・地域住民と協働して道路の清掃、美化活動を実施しました。
・現在、148団体が参加しています。（平成19年5月31日現在）

■昭和町町内会(白河市)



(主) 白河羽鳥線



(一) 会津坂下停車場線

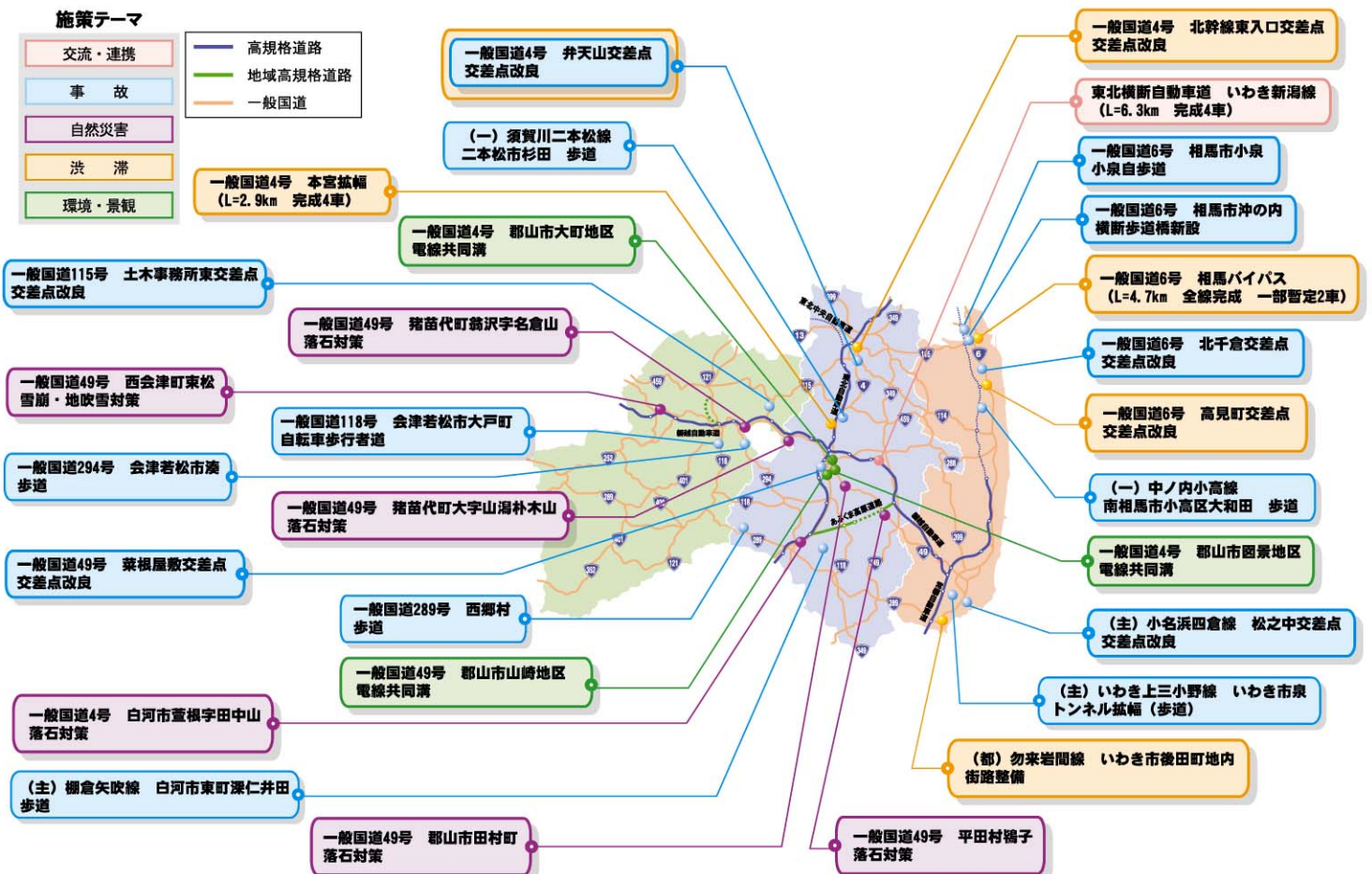
■こまちみどり会(小野町)



(主) 矢吹小野線 (あぶくま高原道路)

ふくしまの道づくりの評価と計画

平成19年度に完了が見込まれる代表的な取り組み



業績評価指標達成状況一覧

OUTCOME PLAN AND REPORT 2006-2007

施策テーマ	県内の課題	H18年度実施	業績評価指標	H17末	H18末		H19末目標
					目標	達成値	
交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> 都市間所要時間の不均衡 浜通り、会津地方の高速利用促進 60分で高次医療施設へ到達できないエリアが存在 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の推進 磐越道4車線化 ソフト施策を実施 (福島松川スマートIC 新鶴スマートIC) 	7つの生活圏中心都市間の所要時間	85分	各種施策を実施しているが、平成19年度末までに事業が完了しないため、目標を設定しない		
			高速道路を利用する自動車の割合	12.4%			
			高次医療施設60分到達可能人口割合	88.3%			
事故	<ul style="list-style-type: none"> 事故危険箇所が東北平均の3倍 通学路歩道未設置区間が約492km存在 	<ul style="list-style-type: none"> 交差点改良などの事故対策 通学路歩道整備 	事故危険箇所数	33箇所	9箇所対策	11箇所対策	10箇所対策
			通学路における歩道の整備延長	1007.9km	22.2km延伸	14.9km延伸	12.3km延伸
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所が多数存在(落石、雪崩、等) 緊急輸送道路における老朽橋梁が多数存在 冬の道路交通情報ニーズの高まり 	<ul style="list-style-type: none"> 危険箇所における対策工事の実施(降雪期までに供用するための工程管理) 老朽橋梁の耐震補強の実施 ホームページ、携帯サイトの充実 	雪崩や地吹雪の恐れのある危険箇所数	233箇所	5箇所解消	6箇所解消	5箇所解消
			落石の恐れのある危険箇所数	1979箇所	47箇所解消	67箇所解消	43箇所解消
			緊急輸送道路の道路構造物耐震化率	22%	37%向上	47%向上	31%向上
			道路情報へのアクセス数(直轄国道)	346万件/年	7万件/年増加	25万件/年減少	55万件/年増加
渋滞	<ul style="list-style-type: none"> 都市部を中心とした渋滞 路上工事による規制時間の多さ 	<ul style="list-style-type: none"> バイパス整備、4車線拡幅 交差点改良 ソフト施策を実施(路上工事日数削減対策バスメール通知サービス) 	渋滞による損失時間	5334万人時間/年	11万人時間/年削減	42万人時間/年削減	108万人時間/年削減
			交通渋滞が著しい箇所数	62箇所	5箇所解消	4箇所解消	9箇所解消
			路上工事時間(直轄国道)	120時間/年・km	6時間/年・km削減	15時間/年・km削減	5時間/年・km削減
環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> DID地区内の景観の向上 自然環境の保全 地球温暖化対策としてのCO2排出量削減 	<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化を実施 CO2排出量削減のための渋滞対策 	電線類を地中化した延長	44.9km	4.0km延伸	4.2km延伸	2.5km延伸



業績評価指標について

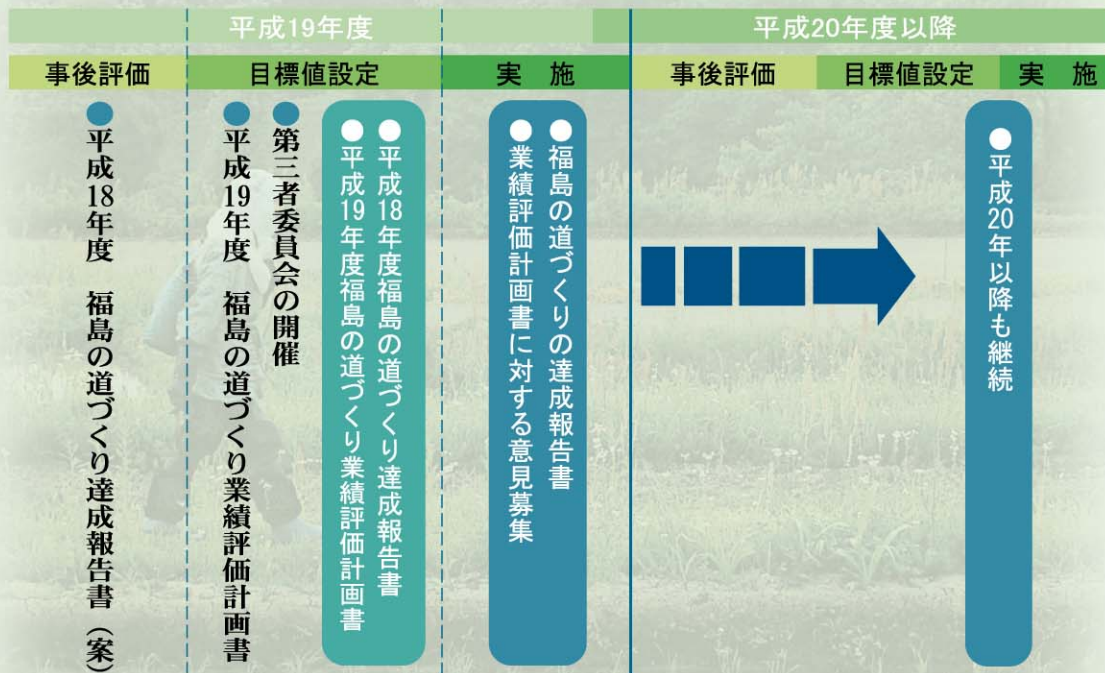
指標	定義
7つの生活圏中心都市間の所要時間	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路、国道、県道を使い最短で生活圏中心都市から最寄り(隣接する)の生活圏中心都市までの所要時間の平均 7都市とは、福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、白河市、南相馬市(旧原町市)、南会津町(旧田島町) 代表地点は、市町村役場
高速道路を利用する自動車の割合	<ul style="list-style-type: none"> 全県および会津、中通り、浜通り地方における規格の高い道路を利用する交通の割合を示す 具体的には全路線の走行台[※](注1)に占める規格の高い道路の走行台[※]割合 注1)自動車の利用状況を示す値(24時間自動車交通量×道路延長)
高次救急医療施設アクセス可能率	<ul style="list-style-type: none"> 対象医療施設は、県立医科大学医学部附属病院(高次救急センター)、財団法人太田総合病院附属太田西内病院、財団法人温和会会津中央病院、いわき市立総合磐城共立病院(以上、救命救急センター)の4施設 各医療施設まで60分で到達可能な市町村人口(注2)の地方別人口に占める割合 各市町村代表地点は、市町村役場 注2)福島県現住人口調査月報(H14.5.1現在)
事故危険箇所数	<ul style="list-style-type: none"> 下記の定義に該当する箇所を事故危険箇所と設定(平成14年度時点) 【事故危険箇所】 ・10年に1度以上の確率で死亡事故が発生する恐れの高い箇所 ・交通事故発生確率が幹線道路全国平均の5倍以上の箇所 等
通学路における歩道の整備延長	<ul style="list-style-type: none"> 通学路指定区間のうち、歩道が整備されている区間延長
雪崩や地吹雪の恐れのある危険箇所数	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年度防災総点検における「雪崩」、「地吹雪」の要対策箇所数
落石の恐れのある危険箇所数	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年度道路防災総点検における「落石」、「岩石崩壊」の要対策箇所数
緊急輸送道路の道路構造物耐震化率	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路指定路線における橋梁の耐震化済の割合を示す
道路情報へのアクセス数(直轄国道)	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省福島河川国道事務所、郡山国道事務所、磐城国道事務所におけるホームページへのアクセス数
渋滞による損失時間	<ul style="list-style-type: none"> 一般県道以上の道路における渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差
交通渋滞が著しい箇所数(渋滞ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> 「渋滞ポイント」とは、以下の定義により抽出された箇所ならびに準ずる箇所等をいう(新たな渋滞ポイント78箇所) 【新たな渋滞ポイントの定義】 DID地区内:渋滞長1000m以上または通過時間10分以上 DID地区外:渋滞長500m以上または通過時間5分以上 ※DID地区とは、人口5000人以上を有し、人口密度が4000人/km²以上の地区
路上工事時間(直轄国道)	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省福島河川国道事務所、郡山国道事務所、磐城国道事務所における1kmあたりの路上工事時間
電線類を地中化した延長	<ul style="list-style-type: none"> 都市防災、良好な歩行空間及び都市景観の確保を図る電線共同溝事業完了延長

成果主義に基づく道路行政マネジメントの進め方

「福島の道づくりの平成18年度達成度報告書」及び「福島の道づくりの平成19年度業績評価計画書」は、第三者委員会や平成18年度中の意見募集を通じて得られた県民の皆さまの幅広い意見を報告書・計画書に反映させ、とりまとめました。

今後は平成19年度施策の事後評価を実施したうえで、「平成19年度達成度報告書」としてとりまとめるとともに、「平成18年度達成度報告書 / 平成19年度業績評価計画書」に対する意見募集を行う予定です。

なお、「業績評価計画書」及び「達成度報告書」については毎年度に策定・公表を行う予定です。



福島県幹線道路協議会について

福島県内の幹線道路計画について、幹線道路を管理する国土交通省、福島県、東日本高速道路株式会社が連絡・調整を図る組織です。

福島県内の幹線道路の管理主体について

- 国土交通省
：2桁以下の国道（国道4号・国道6号・国道13号・国道49号）
- 福島県
：3桁の国道（国道115号など）と主要地方道及び県道
- 東日本高速道路株式会社
：高速自動車国道（東北縦貫自動車道、磐越自動車道、常磐自動車道）

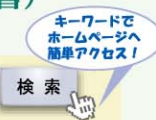
ふくしまの道づくりの評価と計画 (平成18年度達成度報告書 / 平成19年度業績評価計画書)

平成19年9月 福島県幹線道路協議会



アンケートはインターネットでも回答できます。

福島の道づくりの達成度



<http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/outcome/index.html>

福島県幹線道路協議会事務局

国土交通省 福島河川国道事務所 調査第二課 / TEL. 024-538-6128 FAX. 024-546-4340
 国土交通省 郡山国道事務所 調査課 / TEL. 024-946-8164 FAX. 024-946-5449
 国土交通省 磐城国道事務所 調査課 / TEL. 0246-23-0963 FAX. 0246-25-0241
 福島県土木部 道路企画グループ / TEL. 024-521-7469 FAX. 024-521-7951

(表紙写真) 道路写真コンテスト07 入賞作品 「畦道」 / 柳津町



環境に優しい大豆インクを使用しています。古紙配合率100%再生紙を使用しています。